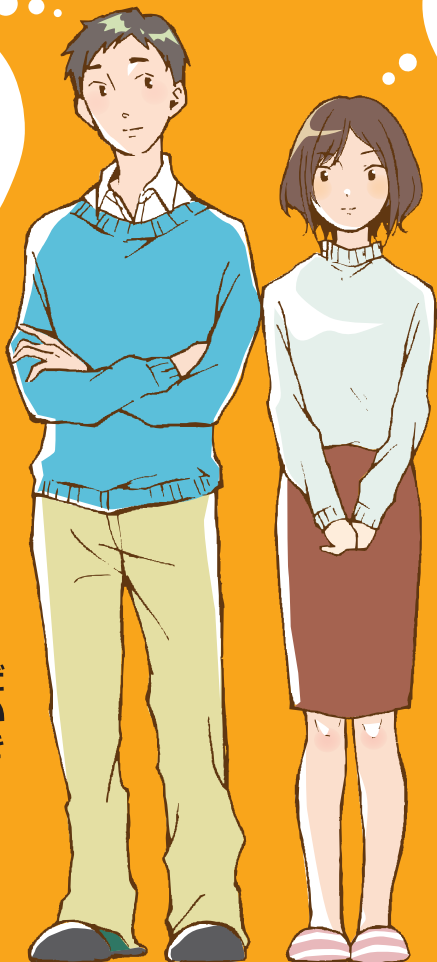


# ふたりで家事を分担

ということを考えてみよう！

山口県は、性別による固定的役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」という考え方( )について、男女とも「反対」の割合が「賛成」の割合を上回っており、10年前と比較すると、固定的役割分担意識の改善の傾向がみられます。一方、夫婦の家事・育児関連時間をみると、依然として家事・育児の負担が女性に大きく偏っています。仕事や家庭生活の充実のため、今回の主人公、共働きの「とも子・だいき」と一緒に男性の家事参画の意義や、一人ひとりの豊かな人生について考えてみてください。



仕事は楽しいし、もっと頑張りたい。

このままだと子どもが生まれるともっと大変になりそう……。

休日も家事に追われてるけどたまには一緒にお出かけしたい。

とも子

広告代理店勤務の中堅デザイナー。仕事も家事も両立する頑張り屋さん。夫が家事に協力してくれないことが最近の悩み。

だいき

印刷会社の営業。まじめでまっすぐな性格だが、家事に関しては基本的に妻の役割で、夫は手伝う立場と考えている。

妻は仕事も家事もすくすく頑張ってくれてる。心では感謝しているんだけど……。

男はあまり家事について口を出さないほうがいいよ。

## 賛成とする理由

女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから

家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから

山口県「男女共同参画に関する県民意識調査」(2019年)より作成

## 反対とする理由

固定的な男性と女性の役割分担の意識を押しつけるべきではないから

女性が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから

## 「男は仕事、女は家庭」という考え方に対する意識

(単位: %)

区分		全体		男性		女性	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
山口県	2019年	35.5	54.4	40.1	50.2	32.2	57.5
	(2009年)	(44.8)	(45.4)	(53.6)	(36.9)	(36.1)	(53.6)
全国(2019年)		35.0	59.8	39.4	55.6	31.1	63.4

山口県「男女共同参画に関する県民意識調査」(2009年、2019年)及び内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(2019年)より作成

あらためて、**男女共同参画社会とは**

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会です。(男女共同参画社会基本法第2条)

